

大好き！わがまち平生

～ 自分たちができること（クリーン作戦を通して） ～

教科・領域 総合的な学習の時間

平生町立平生小学校第5学年

キャリア教育の観点

自分たちの住んでいる平生町のよさを知り、よりよい町にするために自分たちにできることを考え実践することで、働くことの喜びや充実感を味わい、進んで他に奉仕しようとする態度を育てることをねらいとした活動です。

【人間関係形成・社会形成能力】【課題対応能力】

クリーン作戦までの流れ



自分たちの住んでいる平生町のよいところについて一人ひとりが考えたのち、全員で話し合った。「あいさつをよくする」「自然が多い」「食べ物が美味しい」などがあがったが、子ども達の意見で一番多かったのが「花いっぱい町」であった。

そこで、社会教育担当者をゲストティーチャーとして迎えて、花いっぱい運動への取り組みについての経緯やそれに関わるボランティアの人々の協力について、また、その方たちの思いなどを聞いた。

事後の感想には「自分も花いっぱい活動に参加してみたい」「家でも花を植えて協力したい」と自分にできることについて思いをもつことができた。児童の中には後日行われた町主催の「フラワーベルト植栽式」に自主的に参加した児童もいた。



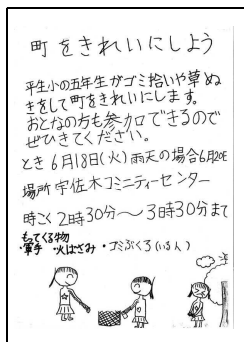
町内花いっぱい活動の一環である花の苗のポット移植作業に5年生全員で参加。苗の植え替え方を教えてもらい、一緒に作業を行った。自分が住みよい町づくりに協力できた喜びに加え、作業を通して地域の方とふれあえた喜びも感じたようだった。

また、作業をしながらボランティアの方の活動への思いや願いについても話を聞くことができ、普段何気なく咲いている町の花壇の花が、ボランティアの方の協力や努力が陰にあったことに気づいた。



ポット移植の作業に参加した後、よりよい町づくりのために自分たちにもできる活動はないか話し合いをした。

「家の周りに花を植えて育て花いっぱいの町にする」「平生町のおいしい食べ物を紹介する」「お祭りを企画し、地域の方がより仲良くなれるようにする」など、自然、食、人など平生のよさを生かせるような案が多数出てきた。そして、最終的には「クリーン作戦を実施して、きれいな町にする」ということに決定した。



その後、地区ごとに6つのグループに分かれ、具体的な活動内容や役割分担についてグループごとに計画を立てた。

自分たちだけでなく、地域の人にも呼びかけようという提案が出たのでポスターを作成し、近くのスーパーや公民館へ掲示をさせていただきました。

クリーン作戦当日



当日は、学校を出発し各地区に分かれて道路や公園のゴミ拾い、草引き、公民館の掃除など、自分たちが立てた計画にそってクリーン作戦を実施した。

ポスター等の呼びかけで、活動を知った地区の方々が参加してくださったところもあった。

集まった多くのごみや、公民館の方からのお礼の言葉を受け、町がきれいになった満足感、自分たちがしたことが社会のためになったという充実感を感じることができた。



クリーン作戦まとめ



活動して気が付いたことや感じたこと、きれいな町にするための呼びかけ、協力していただいた地区の方々へお礼のメッセージを書き、各地区の公民館へ届けた。

最後に一連の活動を振り返り、よりよい町にするために一人ひとりができることについて考えることができた。

考察・課題

自分にできることが社会をよりよくすることにつながることを実感できたこと、グループでの計画や実施、外部の方との会話や活動を通して人間関係形成づくりにつながった。

一緒に参加していただいた地域の方や公民館の方からその場で感謝の言葉をいただき、子ども達は大変満足そうな表情であった。自己評価に加え、他者評価があると子ども達の活動の自己肯定感や自己有用感をより高めることができると感じた。そこで、各地区の公民館や自治会等へ事前に依頼をし、どこでも地域の方の協力を得られるようにしていくことが必要だと思った。